

CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要			■ 外観
建物名称	(仮称)近見6丁目マンション 新築工	階数	地上10F
建設地	熊本市南区近見6丁目2621-3、2623	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、近隣商	平均居住人員	55 人
気候区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	1900年1月 予定	評価の実施日	2022年5月25日
敷地面積	1,845 m ²	作成者	柳田
建築面積	485 m ²	確認日	2022年5月25日
延床面積	3,531 m ²	確認者	東



てください。

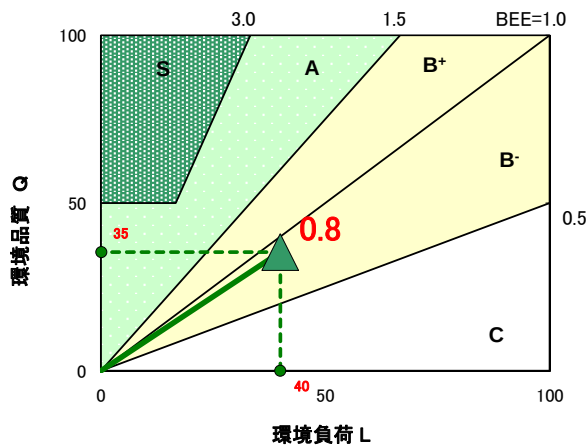
1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



BEE = 0.8

$$\text{BEE(環境効率)} = \frac{Q(\text{環境品質})}{L(\text{環境負荷})}$$



■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO₂排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	★★★★★★
30%超60%以下	★★★★★
60%超80%以下	★★★★
80%超100%以下	★★★
100%超	★

■ ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)



排出率

71%

2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価



評価点

72

評価点

【重点事項1】温室効果ガス排出量削減の推進

78.5

【重点事項2】安全安心で暮らしやすい社会の実現

61.2

【重点事項3】県の地域資源の有効活用と保全

65.0

【重点事項4】循環型社会の実現

75.0

■ 熊本県重点評価基準

判定値(評価点)	ランク表示
100点以上	★★★★★
80点以上100点未満	★★★★
60点以上80点未満	★★★
40点以上60点未満	★★
40点未満	★

※評価点は、100点以上が推奨です。

CASBEE®-建築(新築)

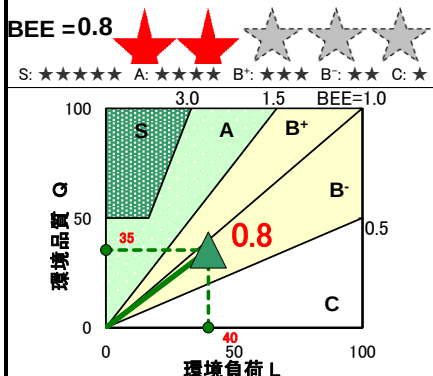
評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

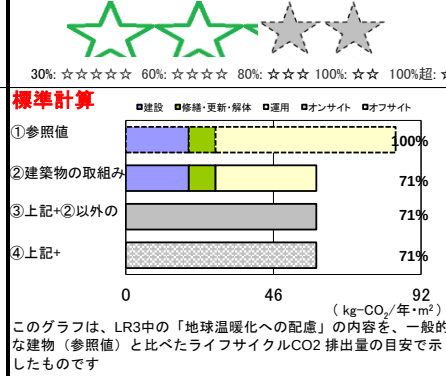
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)近見6丁目マンション 新築工	階数	地上10F
建設地	熊本市南区近見6丁目2621-3、2622-3	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、近隣商業地域	平均居住人員	55 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	1900年1月 予定	評価の実施日	2022年5月25日
敷地面積	1,845 m ²	作成者	柳田
建築面積	485 m ²	確認日	2022年5月25日
延床面積	3,531 m ²	確認者	東



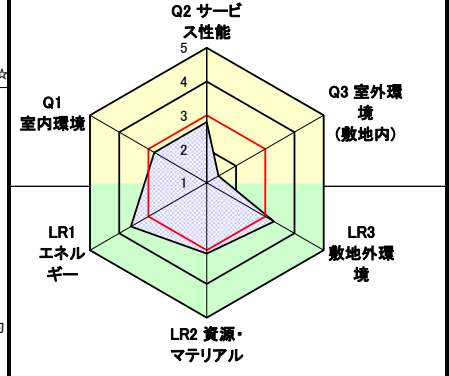
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



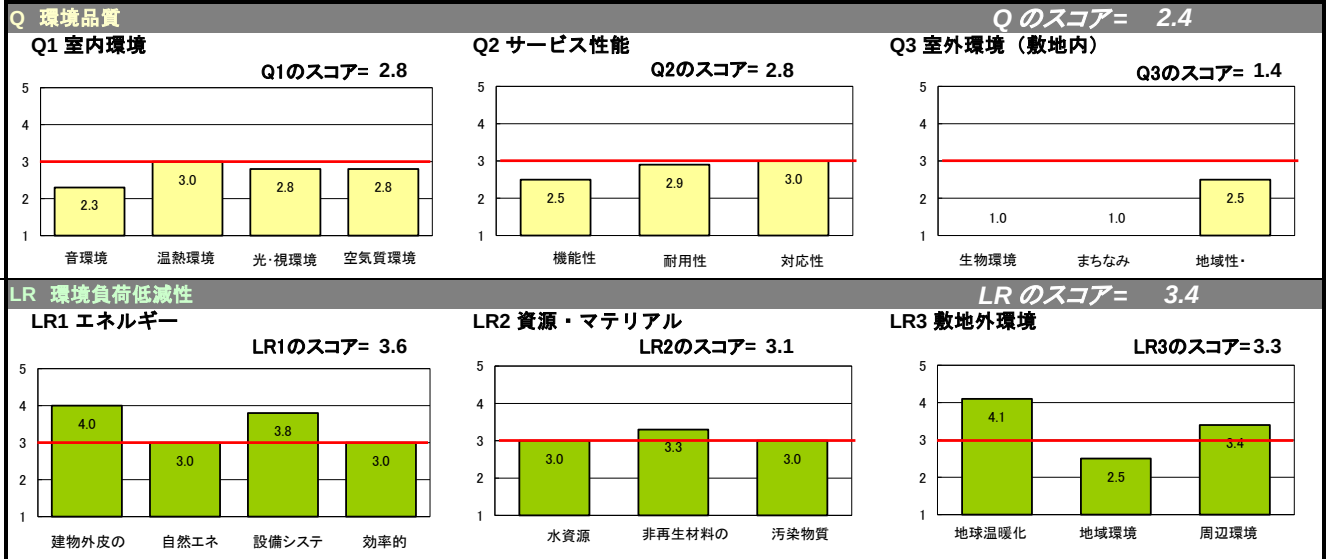
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

重点事項総合評価		重点事項の評価(レーダーチャート)	
		評価点 = 72	
重点事項1: 温室効果ガス排出量削減の推進 評価点 = 78.5	重点事項2: 安全安心で暮らしやすい社会の実現 評価点 = #####		
			
重点事項3: 県の地域資源の有効活用と保全 評価点 = 65.0	重点事項4: 循環型社会の実現 評価点 = 75.0		
			

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)近見6丁目マンション 新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		基本設計段階						
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								
Q1 室内環境				0.40	-	-	2.8	
1 音環境			2.0	0.15	2.5	1.00	2.3	
	1.1 室内騒音レベル	(共用部)エントランス:50dB(A) (住居部)住戸:40dB(A)	3.0	0.50	4.0	0.50		
	1.2 遮音		1.0	0.50	1.0	0.50		
		1 開口部遮音性能	1.0	1.00	1.0	0.30		
		2 界壁遮音性能	-	-	1.0	0.30		
		3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	-	-	1.0	0.20		
	4 界床遮音性能(重量衝撃源)	-	-	1.0	0.20			
	1.3 吸音	-	-	-	-			
2 温熱環境			1.7	0.35	3.6	1.00	3.0	
	2.1 室温制御	(共用部) 窓SC:0.96、U:5.88、外壁U:4.444 (住居部)等級4	1.0	0.63	4.0	0.63		
	1 室温		-	-	-	-		
			2 外皮性能	1.0	1.00	4.0		1.00
			3 ゾーン別制御性	-	-	-		-
	2.2 湿度制御	-	-	-	-			
	2.3 空調方式	3.0	0.38	3.0	0.38			
	3 光・視環境			2.3	0.25	3.0		1.00
	3.1 昼光利用	(共用部)庇により制御 (住居部):カーテン・庇(バルコニー)の設置	1.8	0.30	2.0	0.30		
	1 昼光率		1.0	0.60	1.0	0.50		
			2 方位別開口	-	-	3.0		0.30
			3 昼光利用設備	3.0	0.40	3.0		0.20
	3.2 グレア対策		2.0	0.30	4.0	0.30		
	1 昼光制御		2.0	1.00	4.0	1.00		
	3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御	3.0	0.25	3.0	0.25				
4 空気質環境			3.0	0.25	2.7	1.00	2.8	
	4.1 発生源対策		3.0	0.60	3.0	0.63		
	1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	1.00		
	4.2 換気		3.0	0.40	2.3	0.38		
	1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33		
			2 自然換気性能	-	-	1.0		0.33
			3 取り入れ外気への配慮	3.0	0.50	3.0		0.33
	4.3 運用管理		-	-	-	-		
	1 CO ₂ の監視		-	-	-	-		
	2 喫煙の制御		-	-	-	-		
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-	2.8	
1 機能性			2.4	0.40	2.6	1.00	2.5	
	1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	3.0	0.60		
	1 広さ・収納性		-	-	-	-		
			2 高度情報通信設備対応	-	-	3.0		1.00
			3 バリアフリー計画	3.0	1.00	-		-
	1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40		
	1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50		
			2 リフレッシュスペース	-	-	-		-
			3 内装計画	1.0	1.00	1.0		0.50
	1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-		
	1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-		
			2 維持管理用機能の確保	3.0	0.50	-		-
2 耐用性・信頼性			2.9	0.30	-	-	2.9	
	2.1 耐震・免震・制震・制振	2種以上にB以上を使用し、Eは不使用	3.0	0.50	-	-		
	1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-		
			2 免震・制震・制振性能	3.0	0.20	-		-
	2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30	-	-		
	1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-		
	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-		
	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-		
	4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-		
	5 空調・給排水配管の更新必要間隔		5.0	0.20	-	-		
	6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-		
	2.4 信頼性		2.8	0.20	-	-		
	1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-		
	2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-		
	3 電気設備		3.0	0.20	-	-		
	4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備	2.0	0.20	-	-				

3 対応性・更新性			3.0	0.30	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり			-	-	3.2	0.50	
	1 階高のゆとり	(住居部)天井高:2.4m	-	-	4.0	0.60	
	2 空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性	構造部材・仕上材を痛めることなく修繕できる	5.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性	構造部材・仕上材を痛めることなく修繕できる	5.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性		1.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	1.4
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			1.0	0.40	-	-	1.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制		等級4	4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.92	3.8	0.50	-	-	3.8
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		-	-	-	-	
	4.1 モニタリング		-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制		-	-	-	-	
	集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
	1.1 節水		3.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.60	-	-	3.3
	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	壁・天井:木下地、UB	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
	1 消火剤		-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
	3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		高効率機器の採用	4.1	0.33	-	-	4.1
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
	2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.4	0.33	-	-	3.4
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		-	-	-	-	
	1 騒音		-	-	-	-	
	2 振動		-	-	-	-	
	3 悪臭		-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.67	-	-	
	1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制		-	-	-	-	
	3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		4.4	0.33	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	・光害がイトラインチェックリスト過半を満たす ・広告照明なし	5.0	0.70	-	-	
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE[®] 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

- ・建築物を中高層(12F)にし、廻りの空間をできるだけ確保するように努めた。

Q1 室内環境

- ・窓を大きくとり採光を効率よく取れるようにした。

Q2 サービス性能

- ・将来の更新を想定し、全室ビニルクロスを採用

Q3 室外環境（敷地内）

- ・外壁材(タイル)の彩度を落したデザインとし、周囲への太陽光の反射やグレアの軽減を図る。

LR1 エネルギー

- ・日射遮蔽性を図り、断熱性能を高めるよう、テラス(ベランダ)の奥行を広く計画した。

LR2 資源・マテリアル

- ・限りある資源を有効に利用する。
- ・ハロン消化剤を使用しない。

LR3 敷地外環境

- ・ゴミの散乱を防ぐよう扉付の既製品を採用した。

その他

熊本市重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 (仮称)近見6丁目マンション 新築工事

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2017年版

★熊本市重点評価結果				総合評価点		72
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				78.5	0.40	31.40
Q1-2.1.2	外皮性能	1.0	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	2.0	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	4.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	3.8	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				61.2	0.20	12.24
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				65	0.20	13.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	1.0	0.20			
LR2-1.1	節水	3.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				75	0.20	15.00
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.0	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数